

Close Up

「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌

Vol.38

2020 3月-5月

2020 3/10発行

TAKE FREE

トゥガン・ソヒエフ指揮 バリ管弦楽団

広島交響楽団 第405回プレミアム定期演奏会 大阪公演

外山雄三 ドヴォルザーク 交響曲 第8番&第9番

ほか

真夏のチャイコ 3連投! 熱狂コンチェルト



川久保賜紀

Tamaki Kawakubo

©Yuji Hori



伊藤悠貴

Yuki Ito

©Hideki Shiozawa



上原彩子

Ayako Uehara

©武蔵堂

Sinfonia

シンフォニア

- 02 トッガン・ソビエフ指揮 バリ管弦楽団

04 真夏のチャイコ3連投! 熱狂コンチェルト 上原彩子インタビュー

06 シャルル・リシャール＝アムラン オール・ショパンプログラム「雨だれ」

07 ライト・シンフォニックコンサート ～大人の贅沢～ 川井郁子インタビュー

08 広島交響楽団 第405回 プレミアム定期演奏会大阪公演

09 ギル・シャハム ヴァイオリン・リサイタル

10 日本センチュリー交響楽団×ザ・シンフォニーホール BEST OF BEETHOVEN

12 外山雄三 ドヴォルザーク 交響曲 第8番&第9番

13 日本センチュリー交響楽団 ハイドンマラソン

14 プロジェクションマッピング×パイプオルガン 超絶のボヘミアン・ラブソディ QUEEN×ABBA 追加公演

15 オールパツハ名曲選!! 真夏のオルガンコンサート 2020

16 The Symphony Hall Big Band ～Music Director 菊池寿人～ Vol.15 スペシャル・ゲスト 古澤 巖

18 岡 幸二郎 ベスト・オブ・ミュージカル 大阪公演 関西フィル 第6回親子定期演奏会 夏休み自由研究は、これで決まり!! 第2弾 ヨーロッパ一周! 音楽の旅♪

19 コロンえりか (ソプラノ) オペラ・ラティーナ 石田泰尚ヴァイオリン・リサイタル2020

20 工藤重典と世界で活躍する若き音楽家たち (モーツァルト フルート四重奏曲全曲演奏会) (名曲シリーズ) 大阪フィル×ザ・シンフォニーホール ソワレ・シンフォニー Vol.15

21 山形交響楽団 特別演奏会 さくらんぼコンサート 2020 大阪公演 The Symphoy Hall×和太鼓村組 夏祭り 2020 夏夜に轟く星屑の響き

22 ABCテレビ主催公演・イベント情報

26 日本センチュリー交響楽団

28 welcome more musicians! 音楽を愛する団体が集うザ・シンフォニーホール

29 ホールトピックス

30 堀江政生のシンフォニア・アワーVol.38

31 Concert Calender 2020.3～2020.5

3月のSinfonia会員先行予約

●先行予約:3月19日(木) 10:00AM～(一部の公演は3月18日(水)～)
※Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。
※ザ・シンフォニー チケットセンター窓口、館内プレイガイドでの販売はございません。
※Sinfonia会員先行期間中にご予約されたチケットは、すべて郵送でのお届けとなります。
●電話:ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (10:00～18:00 火曜定休)
●WEB:http://www.symphonycall.jp/

登録費
年会費
無料!

シンフォニア会員登録方法
シンフォニア会員にご登録いただけますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、メールマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!

▼ WEBサイトからのご登録
ザ・シンフォニーホール ホームページ
http://www.symphonycall.jp/ からご登録下さい。
▼ ハガキでのご登録
定型ハガキに下記の情報を記載いただき、63円切手を貼付の上、ポストに投函ください。
【定型ハガキ裏】1.お名前(フリガナ付き)、2.性別、3.郵便番号、4.住所、5.電話番号、6.メールアドレス(メールマガジン受取りの場合)
【定型ハガキ表】531-8501 大阪市北区大淀南2丁目3-3
ザ・シンフォニーホール「シンフォニア」係
※手続き完了後、約2週間で会員番号のお知らせと、シンフォニア最新号をお送り致します。
※携帯端末のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしている方はメールが受信できない場合がございます。[@symphonycall.jp] をドメイン指定受信して下さい。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。
【お客様の個人情報の取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げた内容にしたがって、個人情報の保護に努めてまいります。○お客様からご提供いただいた個人情報については、個人情報に関する法令、規範に則り適正に管理いたします。○お客様からいただいた個人情報は、以下の目的のみに使用し、それ以外には一切使用いたしません。(1)シンフォニア会員様への情報誌「シンフォニア」および関連する印刷物の発送(2)ザ・シンフォニーホールで開催する催事をご案内する印刷物の発送(3)ホールなど施設の利用に関するご案内、ご連絡(4)ザ・シンフォニーホールでの事業、サービスの提供、改善のためのアンケートの送付、分析、データ集積(5)チケット予約販売に伴う、ご注文確認およびご連絡(6)株式会社ザ・シンフォニーホールに関するご案内の発送○個人情報の提供はご自身の意思でご本人様が行うものとなります。○お客様の個人情報、適正かつ迅速に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報に安全に管理されるよう適切に監督します。

※記載公演の内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

～ニューアルバム「ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ集」日本・欧州同時発売記念～
福間洸太郎 ピアノ・リサイタル

2020
5/3(日・祝)
2:00PM

福間洸太郎

ザ・シンフォニーホールでの初リサイタル! 昨年公開された映画『蜜蜂と遠雷』では、松坂桃李 演じるピアニストの演奏を担当したことで話題となった福間洸太郎。4月にリリースされるニューアルバムを提げて、ベートーヴェンのピアノソナタで大阪のファンを沸かします。

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第8番 op.13「悲愴」/ピアノ・ソナタ 第17番 op.31-2「テンペスト」/ピアノ・ソナタ 第14番 op.27-2「月光」/ピアノ・ソナタ 第23番 op.57「熱情」
全席指定 4,000円 (税込)
[主催]MIYAZAWA&Co./ザ・シンフォニーホール

2020年

2020年、ザ・シンフォニーホールのピアノプログラムがとにかく熱い!
今春から年末まで、超一流のピアニストの出演、そしてお客様の心を弾ますプログラムが目白押しです。
ここでは、ザ・シンフォニーホールで行われるたくさんのピアノプログラムの中から、6公演をピックアップします。



～ベートーヴェン生誕250周年記念 特別公演～
清水和音 ベートーヴェン ピアノ協奏曲 全曲演奏会

2020
7/12(日)
1:00PM

清水和音

圧巻のベートーヴェンピアノ協奏曲全曲演奏会が実現!5曲を一度に聴くことで、ベートーヴェンの魅力が再発見できるでしょう。清水和音のエネルギーみなぎる、怒涛の4時間公演は必聴です!

【指揮】梅田俊明 【管弦楽】日本センチュリー交響楽団
ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 op.19/ピアノ協奏曲 第1番 ハ長調 op.15/ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 op.37/ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 op.58/ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」
S 8,500円 A 7,000円 B 5,500円 (税込)
[主催]MIYAZAWA&Co./ザ・シンフォニーホール

ザ・シンフォニーホールが贈る 極上のピアノプログラムを見逃せない!

シャルル・リシャール＝アムラン
オール・ショパンプログラム「雨だれ」

2020
9/19(土)
7:00PM

シャルル・リシャール＝アムラン

●公演の詳細はP6をチェック!

2年半ぶりとなるザ・シンフォニーホールでのリサイタルが決定しました。今回は、超満員のお客様を、幸せに満ちた演奏で包み込みました。今回は傑作「24のプレリュード」を含むオール・ショパンプログラム。感動のステージを是非ご期待ください!

日本センチュリー交響楽団×ザ・シンフォニーホール
BEST OF BEETHOVEN

2020
8/9(日)
2:00PM
BB Vol.1

横山幸雄

「BEST OF BEETHOVEN」と題したチクルス公演の第一弾に登場!日本を代表する名匠がピアノ協奏曲 第5番「皇帝」を華麗に披露します。

2021
2/21(日)
2:00PM
BB Vol.3

関本昌平

2017年、ベートーヴェンの「3大ソナタ」でホールを超満員にした関本昌平。郷古 廉、横坂 源とともにヴァイオリン、チェロ、ピアノの三重協奏曲で魅せます。

●公演の詳細はP10-11をチェック!

ザ・シンフォニーホールが贈る 極上のピアノプログラムを見逃せない!

広島交響楽団
第405回プレミアム定期演奏会 大阪公演

2020
11/15(日)
2:00PM

ゲルハルト・オピッツ

●公演の詳細はP8をチェック!

ドイツを代表するピアノ界の巨匠 オピッツが4年ぶりにザ・シンフォニーホールに登場。オピッツは2018年にザ・シンフォニーホールのピアノを選定。もちろん、自ら選んだピアノで協奏曲「皇帝」を披露します。進化し続ける広島交響楽団との共演に注目です!

ORCHESTRE de PARIS



いま世界から最も熱い視線を注がれるソヒエフ

一方、今回の来日公演でタクトを執るソヒエフは、いま世界から最も熱い視線を注がれる若手の1人。イリヤ・ムーシンやユーリ・

トリを誇る。

そんな、音楽の都の象徴でもあるパリ管弦楽団。1828年創設のパリ音楽院管弦楽団を前身として、フランス文化省の主導で、1967年に設立された。初代の首席指揮者はシャルル・ミュンシュが務め、その後も、ゲオルク・ショルティやダニエル・バレンボイム、セミン・ビシュコフ、クリストフ・エッシェンバッハ、パーヴォ・ヤルヴィら世界的巨匠が歴任。透明感あふれる繊細なサウンド創りを特長に、自国の作品はもちろん、独逸やロシア、北欧なども網羅する、幅広いレパートリーを誇る。

ぎ上げる。

「花の都」と称えられるフランスの首都パリ。2500年以上の歴史を誇り、特に17世紀以降のブルボン朝の時代は、政治経済だけでなく、芸術や学術の面でも、ヨーロッパを代表する都市に。ヴェルサイユ宮殿を舞台に、音楽文化も大輪の花を咲かせ、現代に至るまで、先進地であり続けている。

近年は、パーヴォ・ヤルヴィ、ダニエル・ハーディングと、特に鮮烈な音楽創りで知られるシエフの下、伝統のサウンドへ先鋭さとスタイリッシュさを加味したパリ管。気鋭の名指揮者との邂逅で、新時代の名門を体感する、絶

鉄壁のテクニクを持つ巨匠ギル・シャハムが登場！

そんな彼が最も得意としているのが、ロシアとフランスの作品。今回のステージでも、20世紀ロシアを代表する傑作であるストラヴィンスキーのバレエ音楽「春の祭典」に、フランスの美学を凝縮したようなドビュッシー「牧神の午後への前奏曲」、サン＝サーンス「ヴァイオリン協奏曲第3番」と、まさにソヒエフとパリ管、双方にとつての「十八番」を組み合わせる。

テミルカーノフら巨匠の薫陶を受け、弱冠26歳でウエルズ・ナショナル・オペラの音楽監督に。現在はトゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団の音楽監督や、ボリショイ歌劇場の音楽監督兼首席指揮者を務める一方、ウィーン・フィルやベルリン・フィルをはじめ、各国の第一線楽団へ精力的に客演。日本でも、NHK交響楽団と共演を重ね、ファンを増やしている。

[指揮]トゥガン・ソヒエフ [ヴァイオリン]ギル・シャハム
[管弦楽]パリ管弦楽団

ドビュッシー:牧神の午後への前奏曲
サン＝サーンス:ヴァイオリン協奏曲 第3番 口短調 op.61
ストラヴィンスキー:バレエ音楽「春の祭典」

2020.10/22(木) 7:00PM
S 19,000円 A 16,000円 B 13,000円 C 9,000円 プレミアム 28,000円 (税込)
[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール
先行予約:3/19(木) 一般発売:3/22(日)

好のチャンスともなりそうだ。

しかも、魅力的な旋律と華麗な技巧に溢れた、サン＝サーンスの協奏曲のソリストとして、アメリカ出身の人気ヴァイオリニスト、ギル・シャハムが登場する。鉄壁のテクニクと奥深い音楽性、艶やかな音色、洗練性を併せ持った名手は、40代後半を迎えて、さらなる円熟味と、深い精神性を掌中に。フランスの伝統を伝えるサウンドと名曲、比類なきロシアの才能との出逢いは、きっと、幸せな化学反応を起こすに違いない。

(文 笹田和人)

トゥガン・ソヒエフ 指揮

パリ 管弦楽団

一層の進化を続けるパリ管が、
この秋、最強タッグで挑む——



ヴァイオリン: **ギル・シャハム**

名門 パリ管弦楽団の2年ぶりとなる
ザ・シンフォニーホールでのコンサートが決定！
世界中から注目を集める若き俊英 トゥガン・ソヒエフが
パリ管弦楽団を率いて来日する。
ホールにまた新たな感動の記録を
刻むだろう名演に、期待していただきたい。

フランスとロシアの傑作を、
色彩豊かに紡ぎ上げる

独特のエスプリを纏った上品なサウンドと、歴代シエフを務めてきた巨匠たちによって培われた変幻自在な表現力で、フランスを代表するオーケストラとして君臨し続ける名門・パリ管弦楽団。ボリショイ劇場の音楽監督・首席指揮者などを務めるロシアの俊英、トゥガン・ソヒエフに率いられて、今秋、2年ぶりにザ・シンフォニーホールへ。フランスとロシアの傑作を、色彩豊かに紡

チャイコフスキーという自分の一部のよう存在が一つある、というのはとても幸せ。ずっと大事にしていきたい。

まち大好きになって、それを自分で弾くことが、目標になりました」と上原。「初めて『協奏曲第1番』に取り組んだのは、中学生の頃。当時は技術的にも大変だったで、じっくり長い時間をかけて、ヴェラ・ゴルノスタエヴァ先生名教師として知られるロシア人ピアニストと勉強するうち、どんどん身近になってゆきました」と振り返る。

「彼女とは悩みも大体、同じで：（笑）、そんな状況を共に乗り越えたので、深い部分で分かり合えます。20代の頃は、ただがむしゃらでしたが、30代になると、互いに聴き合う余裕が出て、より自由に、色んな表現をするようになったので、いつそう面白さが増しました」

「彼女とは悩みも大体、同じで：（笑）、そんな状況を共に乗り越えたので、深い部分で分かり合えます。20代の頃は、ただがむしゃらでしたが、30代になると、互いに聴き合う余裕が出て、より自由に、色んな表現をするようになったので、いつそう面白さが増しました」

「彼女とは悩みも大体、同じで：（笑）、そんな状況を共に乗り越えたので、深い部分で分かり合えます。20代の頃は、ただがむしゃらでしたが、30代になると、互いに聴き合う余裕が出て、より自由に、色んな表現をするようになったので、いつそう面白さが増しました」



「彼女とは悩みも大体、同じで：（笑）、そんな状況を共に乗り越えたので、深い部分で分かり合えます。20代の頃は、ただがむしゃらでしたが、30代になると、互いに聴き合う余裕が出て、より自由に、色んな表現をするようになったので、いつそう面白さが増しました」



「彼女とは悩みも大体、同じで：（笑）、そんな状況を共に乗り越えたので、深い部分で分かり合えます。20代の頃は、ただがむしゃらでしたが、30代になると、互いに聴き合う余裕が出て、より自由に、色んな表現をするようになったので、いつそう面白さが増しました」



真夏のチャイコ3連投!

熱狂コンチェルト

上原彩子インタビュー

不動の人気を誇るチャイコフスキーのコンチェルト3曲を、世界が認める3人の実力派ソリストが登場し、一挙に繰り広げるこのコンサート。今号では、2002年、チャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門で女性初、日本人初の優勝を果たし、^{*}若き天才としてつねに第一線で活躍する上原彩子のインタビューをお届けする。

「私の血の中にまで入り込んでいるような存在。何年が経とうと、自然に出て来るし、弾くのが楽しい」。ピアニストの上原彩子は、自分にとってのチャイコフスキー像をこう表現する。チャイコフスキー国際コンクールでの、鮮烈な優勝から18年。8月にザ・シンフォニーホールで開かれる《熱狂コンチェルト》で、「ずっと一緒にいた曲」と位置付ける「ピアノ協奏曲第1番」を披露する。

「小学5年生の時、タチアナ・ニコラーエワ（1924～1993。旧ソ連の名ピアニスト）の演奏で聴いたチャイコフスキーの『グランド・ソナタ』をたち

を弾いている時間が一番楽しいくらい。でも、人前で弾くには、まだまだ」と笑う。

究極の目標を尋ねると、「80歳まで生きられるなら、そこまでピアノを弾いていたら。一体どんなだろう? 考えると、とても面白いですね。では、あなたにとって音楽とは、「うーん」としばしば熟考した上で、「全て」かな。色んなことをやっても全てが音楽に帰ってゆくし、逆に全てが音楽に表現されていけばいいな、と常に考えています」と微笑んだ。

（取材＆文 寺西肇）

[チェロ]伊藤悠貴 [ヴァイオリン]川久保賜紀 [ピアノ]上原彩子
[指揮]飯森範親 [管弦楽]日本センチュリー交響楽団

チャイコフスキー:ロココ風の主題による変奏曲 イ長調 op.33
チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35
チャイコフスキー:ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23

2020.8/2(日) 2:00PM
\$ 6,600円 A 5,500円 B 4,400円 (税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中



今回のプログラムは、アムランの優しく輝かしい音が生きる

5年に1度のショパン国際ピアノコンクール開催を間近に控えた9月、前回2015年の第2位入賞者、シャルル・リシャル＝アムランが、オール・ショパン・プログラムで、ザ・シンフォニー・ホールに舞台に立つ。ここでのリサイタルは2年ぶり、前回は超満員だった。今回のプログラムは、まずアムランの優しく輝かしい音が生きるであろう、「アンダンテ・スピナートと華麗なる大ポロネーズ」に始まる。そして、ショパンの成熟の名作、ピアノ・ソナタ第3番へ。アムランにとっては、コン



2018年5月のリサイタルでは満員のお客様からの拍手が鳴り止まなかった。

クールの際にツイメルマンから贈られるソナタ賞を受賞した、得意のレパートリーだ。

そして大きな期待を寄せずにいられないのが、「24のプレリュード」。ときに音楽的な一つの宇宙がそこにあるといわれるほどのこの傑作は、アムランにとって、コンクール以後のレパートリーとなる。包容力と内に秘めた情熱を持つ彼のピアノは、この複雑な感情をたたえ、ドラマティックに起伏する名曲を、どのように描きあげてくれるのだろうか。

ショパン国際ピアノコンクールといえば、ショパンが特別に好きで長らく憧れ、万全の準備と並々ならぬ気合いとともに挑戦するピアニストも多い。しかしアムランの場合は、ごく自然な気持ちでこの舞台に臨み、本人も「今ここで演奏していることが信じられない」と話す中でファイナルまで進み、最終的に第2位に輝いた。このコンクールの入賞者は、その後なにかとショパンを演奏することが求められるものだが、その意味でアムランは、入賞をきっかけにより濃密にショパンと向き合い、理解を深めていったといえるだろう。

ショパンの音楽を演奏するうえでアムランは、「音楽の持つ自然な魅力を見出すためには、ハーモ

[ピアノ]シャルル・リシャル＝アムラン

ショパン:アンダンテ・スピナートと華麗なる大ポロネーズ 変ホ長調 op.22/ショパン:ピアノ・ソナタ 第3番 短調 op.58/ショパン:24のプレリュード op.28

2020.9/19(土) 7:00PM

全席指定 4,400円 (税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニー・ホール

先行予約:3/19(木) 一般発売:3/22(日)

ニーへの感受性、そして、楽譜への忠実さが大切。楽譜に書かれたことの詳細と一体化し、演奏中にはそのことを忘れることが必要だと話していた。今や一つ一つのレパートリー、ショパンの表現が彼の体に染み込み、自然な形で放出されるようになってきているに違いない。

コンクールの会場で初めてアムランの演奏を聴いたときの、あたたかい音楽で満たされるような幸福感は、5年がたった今も忘れられない。年を重ね、さらにはショパン国際ピアノコンクールの入賞者として世界中の聴衆にショパンを届ける経験を積んで、彼の表現がどのような熟成を進めているのか、楽しみに耳を傾けたい。

(文 高坂はる香)

Interview

ヴァイオリン・川井郁子



ライト・シンフォニックコンサート ～大人の贅沢～

歌心たっぷりのヴァイオリンの音色が、
オーケストラの響きと溶け合って、聴くものの心を満たす

大阪は「温かいお客様の明るい
活気に溢れる場所」

「大人の贅沢」を掲げ、様々なジャンルの音楽を通じて上質な時間を過ごしてもらおうと2017年から始まったライト・シンフォニックコンサート。昨年に続き、ヴァイオリン奏者の川井郁子が登場する。出演は、大阪交響楽団、指揮の松元宏康。

「昨年の共演では、大阪交響楽団の皆様がとても柔軟に素晴らしいアンサンブルでサポートしてくださり、心強く気持ちよく演奏させていただけました。松元さんは、幅広いジャンルにわたって指揮される実力ある若手コンダクターでいらっしゃるの、音楽ジャンルそれぞれの特徴を活かしながら一緒に音楽を作れたらと思います」。

プログラムは、ヴァイオリンの定番曲であるヴィヴァルディの「四季」より、ピアソラの「ソレダッド（孤独）」、映画音楽の名曲「シンドラーのリスト」、さらに華麗な妙技を披露するモンティの「チャルダッシュ」まで、多彩な内容。さらに川井自身の作曲による「ホワイ・レジェンド」白鳥の湖より」も披露される。この曲はフィギュアスケートの羽生結弦選手が2014年ソチオリンピックのエキシビジョンで使用

した曲だ。

「ソチの時には、テレビの前でドキドキしながら観ました。羽生選手はこの曲について、「悲しみから立ち上がる心を感じるの、被災地の皆様に届けたい」とコメントくださっているの、演奏の際にもそのメッセージが羽生選手の演技と共に頭をよぎります」。

2020年はアルバムデビューから20周年の節目となる。

「デビューから色々な出会いや機会に恵まれてきた中で、様々な「越境」によるコラボレーションで化学反応が起き、表現の飛躍距離が伸びるのを実感します。和洋の音楽の融合をはじめ、時代性や民族を超えて音楽表現することは大事なライフワークです。デビュー20周年に向けて、音楽舞台の集大成を作りたいと思っています。今後大好きな名曲を集めたコンサートや、タンゴやピアソラに特化したコンサートも充



実させたいですね」。

今回使用する楽器は自身が教授をとめる大阪芸術大から貸与された1715年製のストラディヴァリウス。大阪については、「舞台上からでも温かいお客様の明るい活気に溢れる場所と感じます。何より、フランクで柔らかなお人柄の方が多いという印象ですので、とても演奏しやすいです！」と話す。稀代な名器を手、大阪のファンをワンランク上の時間へと誘ってくれるだろう。

(文 伊藤制子)

[指揮] 松元宏康 [ヴァイオリン] 川井郁子
[管弦楽] 大阪交響楽団

ヴィヴァルディ:「四季」より/バルトーク:ルーマニア民俗舞曲 BB76/川井郁子:ホワイ・レジェンド「白鳥の湖」より/M.モノ:愛の讃歌/G.M.ロドリゲス:ラ・クンパルシータ/ピアソラ:ソレダッド(孤独)/宮川泰:宇宙戦艦ヤマト/J.ウィリアムズ:シンドラーのリスト/ホルスト:ジュピター/モンティ:チャルダッシュ/ロドリゴ:恋のアランフェス(レッド・ヴァイオリン)

2020.7/18(土) 2:00PM

S 5,500円 A 4,400円 (税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール/公益社団法人 大阪交響楽団

発売中



指揮 下野竜也

“讃” 平和を讃えて 広島交響楽団

第405回プレミアム定期演奏会 大阪公演



目覚ましい飛躍を魅せる広響 3年ぶりにザ・シンフォニーホールに登場!

「皇帝」はドイツの巨匠
オピッツの演奏で魅了

「広響」の愛称で知られる広島交響楽団は、創立57年。本拠地・広島市での定期演奏会や地域定期演奏会をはじめ、「デイスカバリ・シリーズ」と「音楽の花束」の二つのシリーズ、そして「Music for Peace」と毎年8月5日に開催される「平和のタペ・コンサート」を軸に、多彩な活動を展開。秋山和慶（現・終身名誉指揮者）が音楽監督に就いてからは目覚ましくレヴェルを向上させ、音楽総監督の下野竜也がそれを引き継ぎ、さらなる飛躍を遂げている。

昨年、ポーランドで行われた「ショパンと彼のヨーロッパ」国際音楽祭では、広響の精鋭メンバー19人がシンフォニア・ヴァルソヴィアのメンバーと共演。フィルハーモニーホールで開催された演奏会に、同楽団の平和音楽大使マルタ・アルゲリッチらも出演。立ち見が出るほどの盛況であった。

第二次大戦後75年を迎えた2020年、広響は「讃え、平和を讃えて」をテーマに掲げ、被爆地ヒロシマの思いを胸に音楽とともに平和を発信する。11月には、3年ぶりにザ・シンフォニーホールに登場する。

プレミアム定期演奏会とし

て大阪で演奏されるのは2曲。

今年は、ベートーヴェン生誕250年。広響の「ベートーヴェン・コンチエルト・シリーズ」の集大成となるベートーヴェン《ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」》を、ドイツの巨匠ゲルハルト・オピッツと共演。リストやベートーヴェンの流れを汲む歴史的ピアニスト、ヴィルヘルム・ケンプからベートーヴェンのピアノ・ソナタとピアノ協奏曲を学んだ彼は、豊かな響きと構築性に富んだ堂々とした風格の演奏で世界中のファンを魅了してきた。

そして、オピッツは2018年にザ・シンフォニーホールのピアノ選定（スタインウェイ）に関わるなど、同ホールとは深いつながりを持つ。自ら選んだピアノで傑作「皇帝」に挑む。

また、広響と下野竜也はブルックナーを毎年1曲演奏しており、今年は《交響曲 第4番「ロマンティック」》をとりあげる。ブルックナーは、下野がこよなく愛する作曲家。3年前の音楽総監督就

ピアノ:ゲルハルト・オピッツ



任披露コンサートのプログラムにも、ブルックナーの《交響曲 第8番》をとり入れ、ザ・シンフォニーホールでも披露した。広響×下野との初CDもブルックナー《交響曲 第5番》だった。

これら2曲は、二人の作曲家がウィーンで活動していた時期の作品。下野もウィーンに暮らした時代がある。その地で学んだ下野が、これら2曲をどのように聴かせてくれるだろうか。

(文 道下京子)

[指揮] 下野竜也 [ピアノ] ゲルハルト・オピッツ
[管弦楽] 広島交響楽団

ベートーヴェンピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」
(ベートーヴェン・コンチエルト・シリーズ) / ブルックナー交響曲 第4番 変ホ長調「ロマンティック」(ハース版)

2020.11/15(日) 2:00PM

全席指定 5,500円 (税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] 公益社団法人 広島交響楽協会 / ザ・シンフォニーホール

先行予約: 3/19(木) 一般発売: 5/17(日)

ギル・シャハム ヴァイオリン・リサイタル

世界的名手による渾身のプログラム
30年来の盟友・江口 玲との共演で。



©Luke Ratray

シャハムの持ち味を
味わうには最良の演目

ギル・シャハムは、1971年アメリカ生まれのイスラエルヴァイオリニスト。天才少年として早くから頭角を現し、世界的な名手として長年華々しい活躍を展開。また、両親が科学者ということもあってか、非常に知的で謙虚な人柄で知られ、作品の忠実な再現に徹底的にこだわるアプローチも魅力になっている。そんな彼は過去にオーケストラのソリストとしてザ・シンフォニー・ホール・の舞台上に二度登場しているが、この度、満を持してピアノとのデュオによる初リサイタルを行う。

当初のプログラムは、得意のJ.S.バッハを軸にしたものを予定していたが、本人の希望でフランスに関連のある6曲に変更。その内容が、ドビュッシー、ラヴェル、フォーレ、メシアン・の近現代フランス作品と、クライスラーのフランス・バロック様式による小品2曲だ。フランス音楽の表現にはエレガントな音色や歌心と、知的なエスプリが求められるので、シャハムの持ち味を味わうには最良の演目といえるだろう。

これらのフランス作品は作風が多彩。ドビュッシーの最後の作品で、あらゆる様式からの自由を願う想いが結晶したソナタ。ジプシー音楽の影響が色濃いラヴェル「ツイガヌ」。フォーレの初期傑作で、「驚嘆すべき美しさ」と讃えられたソナタ。そしてメシアンの幻想的な「主題と変奏」といった具合だが、シャハムは各曲に最もふさわしい解釈を披露してくれるはずだ。

クライスラーは、「クープランの様式によるルイ13世の歌とパヴァーヌ」と「フランクールの様式によるシチリアーノとリゴードン」を選曲。バロック音楽のスペシャリストであるシャハムらしい、また上記のフランス作品との関連という意味でも、実に彼らしい好選曲だと思う。

こうした彼の妙技をサポートするのが、長年の盟友で、世界的な弦楽器奏者との経験が豊富な江口 玲。シャハムとの交友は30年以上に渡るが、「音色の美しさは10代の頃から天下一品だ」という。また、「シャハムは常に冒険心にあふれる自由な発想の持ち主」でもあるとのこと。2人の息の合った演奏から生まれる即興的な名演の数々は、シャハム&江口にしか成しえない至芸として、長年世界中のファンを魅了し続けてきた。そんなまさに一夜限りの至高の夜が、今から楽しみでならない！

(文 渡辺謙太郎)

発売中

[ヴァイオリン]ギル・シャハム [ピアノ]江口 玲

ドビュッシー：ヴァイオリン・ソナタ／クライスラー：クープランの様式によるルイ13世の歌とパヴァーヌ／フランクール：フランクールの様式によるシチリアーノとリゴードン／ラヴェル：ツイガヌ／メシアン：主題と変奏／フォーレ：ヴァイオリン・ソナタ第1番 イ長調 op.13

2020.6/27(土) 7:00PM

S 8,800円 A 6,600円 (税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニー・ホール



©kunihiisa kobayashi

BB Vol.1 「皇帝」

2020.8/9 (日) 2:00PM

[ピアノ]横山幸雄

ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 「皇帝」 op.73 / 交響曲 第7番 イ長調 op.92

BB Vol.2 「英雄」

2020.9/8 (火) 7:00PM

[ヴァイオリン]竹澤恭子

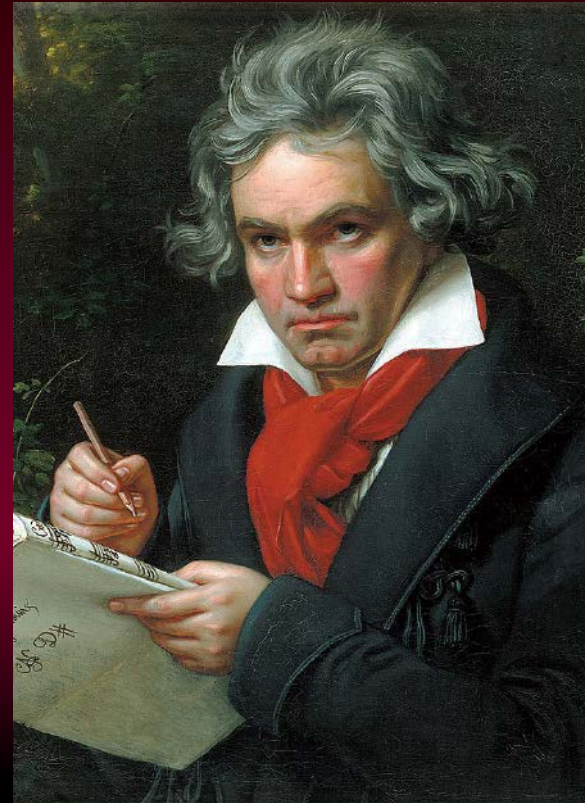
ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.61 / 交響曲 第3番 変ホ長調 「英雄」 op.55

BB Vol.3 「運命」

2021.2/21 (日) 2:00PM

[ピアノ]関本昌平 [ヴァイオリン]郷古 廉 [チェロ]横坂 源

ヴァイオリン、チェロ、ピアノのための三重協奏曲 ハ長調 op.56 / 交響曲 第5番 ハ短調 「運命」 op.67



ベートーヴェン生誕250周年。ひとときわ異彩を放つ、
全3回にわたる豪華シリーズがザ・シンフォニーホールで実現!

ベートーヴェン生誕250周年記念プロジェクト
日本センチュリー交響楽団
×
ザ・シンフォニーホール

BEST OF BEETHOVEN

で圧倒的な優勝を飾り、パリを拠点に精力的な活動を展開している名手・竹澤恭子を迎えて「ヴァイオリン協奏曲」を聴く。1806年、35歳の楽聖が書いた、中期の代表作。メンデルスゾーン、ブラームスの作品と並んで、「三大ヴァイオリン協奏曲」にも列せられている。一昨年にデビュー30周年を迎え、バロックから現代に至る幅広いレパートリーを誇る竹澤にあって、ベートーヴェンは折に触れて取り上げている、特別な作曲家の一人。艶やかな音色で紡がれてゆく、躍動する旋律の数々。併せて演奏される「交響曲第3番《英雄》」のダイナミックなサウンドと共鳴することだろう。

第3回では、シヨパン国際ピアノ・コンクール4位の関本昌平、ティボール・ヴァルガシオン国際ヴァイオリン・コンクールを制した郷古廉、ミュンヘン国際音楽コンクール・チェロ部門で第2位の横坂源と最難関の登竜門で実績を重ね、国内外から熱い注目を浴びる俊英たちが一堂に会し、ピアノとヴァイオリン、チェロと管弦楽のための「三重協奏曲」に對峙する。楽聖が33歳だった1803年から翌年にかけて、作曲された「三重協奏曲」。18世紀に流行した「シンフォニー・コンセルタント（協奏交響曲）」のスタイルに、ベートー



[指揮]飯森範親 [管弦楽]日本センチュリー交響楽団
[各公演]S 6,600円 A 5,500円 B 4,400円 (税込)
★3公演通し券 BB 19,800円(税込) 限定50席スペシャルシート
※セット券は、センチュリー・チケットサービスとザ・シンフォニー チケットセンターでお電話のみでのお取り扱いとなります。
[お問合せ]センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311
[主催]公益財団法人日本センチュリー交響楽団
ザ・シンフォニーホール

BB Vol.1 / BB Vol.2 先行予約:3/19(木) 一般発売:3/22(日)

BB Vol.3 先行予約:9/24(木) 一般発売:9/27(日)

3公演通し券 BB 先行予約:3/18(水) 一般発売:3/26(木)

(文 笹田和人)

ヴェン独自の美学が巧みに落とし込まれた。知る人ぞ知る傑作ながら優秀なソリストを3人も揃える必要があることから、生で体験できる機会は意外に少ない。

その意味では、いま望みうる最高の、しかもリサイタルやオーケストラ共演で登場するなど、ザ・シンフォニーホールと縁の深い顔ぶれが揃った今回は、まさに幸運。句々の名手たちは、ある時は共に謳い、ある時は拮抗して、快い緊張感と愉悅に満ちた音楽を創り上げてくれるはず。さらに、楽聖ベートーヴェンの代名詞と言いつつ、良いほどの傑作中の傑作「交響曲第5番《運命》」と一緒に味わえるとなれば、もはや、これ以上の贅沢はないだろう。

国際的に活躍する「線ソリストの妙技で堪能できるシリーズ」

生誕250年のメモリアルイヤーを迎えて、各地で数多く開催されているベートーヴェン関連のコンサートの中心にあっても、ひとときわ輝きを放つ存在となる。ザ・シンフォニーホールを舞台に、全3回にわたって開かれる《ベストオブ・ベートーヴェン》。楽聖が創り上げた傑作の森から抽出したエッセンスを、飯森範親指揮の日本センチュリー交響楽団の快演と国際的に活躍する「線ソリスト」の妙技で堪能できるシリーズだ。

第1回には、1990年のシヨパン国際ピアノ・コンクールで、日本人として最年少となる19歳で3位入賞を果たして以降、第一線を疾走し続ける横山幸雄が登場。わが国を代表する、卓越したベートーヴェン弾きとしても知られる名匠が、38歳の楽聖が完成させた、様々な新機軸を盛り込んだ野心作「ピアノ協奏曲第5番《皇帝》」を披露。2013年から、足掛け7年にわたるベートーヴェンのピアノ独奏曲全曲演奏シリーズに取り組んできた横山、舞踊の聖化と称される「交響曲第7番」と相まって心を揺らす名演が期待できる。

そして、第2回は、1986年に開かれた第2回インディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクール

世界的に名声を博す外山雄三が、
名作の魅力を丹念に描き出す！

外山雄三

Interview

ドヴォルザーク 交響曲 第8番&第9番

指揮：外山雄三

ドヴォルザークの最も重要な作品として位置づけられる

昨年4月にシューベルト「未完成」、ベートーヴェン「運命」、ドヴォルザーク「新世界より」という、『三大交響曲』を熱演した外山雄三が、再び大阪交響楽団を率いて、今度はドヴォルザークの交響曲第8番と第9番『新世界より』のタクトを執る。このドヴォルザークの対照的なふたつの名曲交響曲について、外山は次のように語ってくれた。

「ドヴォルザークというと、『スラヴ舞曲』とか『ユーモレスク』とかの豊かなメロディーと魅力的なリズムを思い浮かべるのではないかと思います。こと交響曲においてドヴォルザークは、第7番以前は、明らかにブラームスの影響が強く見られます。特に第6番や、第7番の交響曲は形式的に全く文句のつけようがないけれど、非常に魅力的かといわれると、ややためらってしまう。それはなぜかというと、ドヴォルザーク本人は自分の思ったことを全部正直に書き表せていないから。自分の想いを全部楽譜に出来ていないのではないか、と思うのです」

と、大胆な論拠を示している。では第8番の魅力はどのようなものなのだろうか。

「この交響曲第8番は、『チェコ

大阪交響楽団



の作曲家』としてのドヴォルザークの最も重要な作品として位置づけることができていると思います。以前まではもどかしかったのに、第8番になると突然、あつ、こうやっていいんだというような、自分のホンネ、あるいは民族意識みたいなものを率直に作品に表すことが出来たのだと思います。彼が身に着けた形式感に、彼が本来持っている色彩感や民族感を盛り込むことができるようになったといえるでしょうね。

ブラームスの2番やマーラーの3番のように、ドヴォルザークも大自然の情景から新たな刺激を受け、作品として実を結ぶ、まさに『チェコへの愛』を表現した作品だと思っています。ボヘミアののだ

かで明るい田園的な印象が特徴的で、チェコの田舎を彷彿させるメロディーにはドヴォルザークの『チェコ民族としての誇り』が込められているのかも知れませんね」

それでは、『新世界』の魅力は？
「『新世界』ではアメリカへ移住したドヴォルザークが、滞在中に聴いたアメリカの土着の音楽から大きく影響を受けています。故郷への望郷の念を抱きつつ、黒人音楽にも刺激を受け、しっかりとした構成で書かれています。また、クラシックの垣根を超えた美しいメロディーが次々と溢れ出てくることも魅力のひとつですね」

音楽に対しあくまで真摯に取り組む外山のコンサート、圧倒的で強烈な印象を残す伝説のステージが今、始まるうとしている。

(文 三宅坂幸太郎)

発売中

[指揮]外山雄三
[管弦楽]大阪交響楽団

ドヴォルザーク 交響曲 第8番 長調 op.88
交響曲 第9番 小短調「新世界より」op.95

2020.5/21(木) 7:00PM
S 6,600円 A 5,500円 B 4,400円 (税込)

[お問合せ]公益社団法人 大阪交響楽団 072-226-5522
[主催]公益社団法人 大阪交響楽団 / ザ・シンフォニーホール

【指揮】飯森範親

日本センチュリー交響楽団 ハイドンマラソン



ハイドンマラソン

HAYDN MARATHON

ハイドンの交響曲を全曲演奏。
折り返しの好タイミングで舞台はザ・シンフォニーホールへ!



古典派の巨匠で、生涯に104曲もの交響曲を残したこと、
「交響曲の父」の異名を持つヨーゼフ・ハイドン。それらは駄作が一つもなく、爽快でユーモアに富んでいるので、実に耳に心地よく、何度聴いても飽きないのが魅力と言えるだろう。

そんな音の宝宝箱の全曲演奏&録音に取り組んできた日本センチュリー交響楽団と、首席指揮者・飯森範親が、2020年1月に折り返し地点に到達!この好タイミングで、今年6月より会場をザ・シンフォニーホールに移し、さらなる充実と快進撃を見せようとしていることは周知の通りだ。当記事では、来る6月の「H.M.19」と、8月の「H.M.20」の聴きどころをご紹介します。

「H.M.19」は「ロンドンセットの魅力」と題し、交響曲第93、95、97番を披露。「ロンドンセット」は、作曲家と彼の楽団がロンドン演奏旅行を行うにあたり、1791〜95年にかけて書かれた12の交響曲(第93〜104番)の総称で、後期ならではの洗練された傑作揃い。今回の3曲も、重厚さと、キラッと、遊び心を備えた第93番。この連作中、唯一の短調作品で、序奏なしの第1楽章や、独奏チェロが活躍する第3楽章など、実に凝った作りの第95番。祝祭的なハ長調

作品で、トランペットと打楽器を中心に深刺と雄大な音世界を築き上げる第97番と、いずれも聴きごたえ十分だ。また、この回は「惑星」の作曲家ホルストの現代作品「吹奏楽のための第1組曲」も演奏。第1楽章の変奏曲にハイドン時代の対位法などが緻密に用いられているので、右記の3曲と関連した好選曲になっているのが嬉しい。

続く「H.M.20」のテーマは、「エステルハージ家のハイドン1」。交響曲の演目は、第33、36、48番で、すべて作曲者が20代後半〜30代の働き盛りに書かれている。前述の第97番と同じハ長調で、やはりトランペットと打楽器が華々しく活躍する第33番。第2楽章で独奏のヴァイオリンとチェロが二重協奏曲のように掛け合う第36番。輝かしさと憂いを巧みに織り交ぜた第48番と、若々しい挑戦心に満ちていた頃のハイドンの情熱と知性を堪能しよう。そして、この回も「H.M.19」と同様に現代作品を演奏。ソリストに極限の技術と体力が求められる超難曲、ジョリヴェ「ファゴットと室内管弦楽のための協奏曲」が選ばれており、当団首席ファゴット奏者・安井悠陽の妙技が存分に発揮されるに違いない!!

(文 渡辺謙太郎)

ハイドンマラソンH.M.19 「ロンドンセットの魅力」

発売中

ハイドン 交響曲 第95番 ハ短調/ホルスト:
吹奏楽のための第1組曲 変ハ長調/ハイ
ドン 交響曲 第93番 二長調/ハイドン 交響曲
第97番 ハ長調

2020.6/12(金) 7:00PM

ハイドンマラソンH.M.20 「エステルハージ家のハイドン1 (働き盛りのハイドン)」 [ファゴット]安井悠陽

ハイドン 交響曲 第33番 ハ長調/ジョリヴェ:
ファゴットと室内管弦楽のための協奏曲/ハ
イドン 交響曲 第36番 変ハ長調/ハイドン:
交響曲 第48番 ハ長調「マリア・テレジア」

2020.8/7(金) 7:00PM

先行予約:3/19(木) 一般発売:3/23(月)

ハイドンマラソンH.M.21 「エステルハージ家のハイドン2 (番号と作曲年代にずれ)」 [トロンボーン]ファブリス・ミリシェー

ハイドン 交響曲 第40番 ハ長調/M.ハイ
ドン:アルトロンボーン協奏曲 二長調/ハイ
ドン 交響曲 第34番 二短調/ハイドン 交響曲
第72番 二長調

2020.10/23(金) 7:00PM

一般発売:5/25(月)

ハイドンマラソンH.M.22 「ハイドンセットの時代からバリ交響 曲へ(1782〜1785)」

ハイドン 歌劇「薬劑師」より 序曲/ハイドン:
交響曲 第75番 二長調/ハイドン 交響曲 第
79番 ハ長調/ハイドン 交響曲 第83番 ト
短調「めんどり」

2021.2/19(金) 7:00PM

一般発売:9/23(水)

[各公演]A 5,000円 B 4,000円 (税込) [お問合せ]センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311 [主催]公益財団法人日本センチュリー交響楽団/ザ・シンフォニーホール

衝撃の追加公演決定!

プロジェクションマッピング×パイプオルガン

超絶の

ボヘミアン・ラブソディ

QUEEN × ABBA

超絶のスピードで完売につき、追加公演が決定!

ザ・シンフォニーホールには、子どもから大人まで心からワクワクさせ、ファンタジーの世界へと導く超人気シリーズのコンサートがある。それは、「スター・ウォーズ」「オペラ座の怪人」といった世界中で愛され続ける名作音楽が、豊かなパイプオルガンの響きとプロジェクション・マッピングのファンタジックな映像世界で楽しめる超絶シリーズだ。

同シリーズは毎夏4年連続で完売を記録。そして今年5月に開催される待望の最新作『超絶のボヘミアン・ラブソディ QUEEN × ABBA』は、発売日から、超絶のスピードでチケットが売り切れとなった。老若男女、幅広い年齢層のお客様からの期待の聲が高まるなか、この度、追加公演が決まった!

本公演では、昨年日本で社会現象となった大ヒット映画『ボヘミアン・ラブソディ』でお馴染みの英ロックバンド・QUEENと、スウェーデンのポップグループ・ABBAという2大トップスターの名曲ばかりが集められている。甘くセクシーなフレディ・マーキュリーの歌声で世代を超えて愛され続けるQUEENのヒット曲や、誰もが踊り出してしまいたく

オルガン

大木麻理



©Mari Kusakari

る魔法のようなABBAの楽曲の数々を、3732本のパイプが紡ぐオルガンの多彩なハーモニーで届けていく。

ロック音楽とポップスが、オルガンのパイプから響き渡るとき、客席は未知なる扉を開くことになるだろう。その鍵を握るのは、

ガニストだ。QUEENとABBAと大木麻理の熱いパッションが交差したパイプオルガンの音色から、大ヒット曲に秘められた新たな魅力を発見するに違いない。

(文 金子真由)

オルガニストの大木麻理。これまで国内外のオーケストラやアンサンブルと多数共演し、2018年4月よりミュージアムザ川崎シンフォニーホール・ホールオルガニストを務めている。ザ・シンフォニーホールでは、各オルガンの個性を活かした音色作りで多くのファンを魅了し、昨年末に開催された「クリスマスオルガンコンサート2019」、「プロジェクション・マッピング×パイプオルガンGIFT〜クリスマス・キャロル2019〜」に出演。堂々たる演奏を聴かせてくれた。若々しく自由な発想で客席を楽しませるエンターテインメント性あふれるオル

[オルガン]大木麻理

■QUEEN: I WAS BORN TO LOVE YOU (ボーン・トゥ・ラヴ・ユー)★/WE WILL ROCK YOU (ウィ・ウィル・ロック・ユー)/DON'T STOP ME NOW (ドント・ストップ・ミー・ナウ)★/BOHEMIAN RHAPSODY (ボヘミアン・ラブソディ)

■ABBA: MAMMA MIA (マンマ・ミーア)/DANCING QUEEN (ダンシング・クイーン)★/VOULEZ VOUS (ヴーレ・ヴー)★/LAY ALL YOUR LOVE ON ME (レイ・オール・ユア・ラヴ・オン・ミー) 順不同 ★プロジェクション・マッピング付

2020.5/17(日) 5:30PM ※休憩なし。約60分間のコンサートです。
全席指定 2,750円 (税込) ※4歳以上入場可能

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

完売必至!!



1年に1度、オルガンファンの夏の定番！
進化を続けるオールバッハ・プログラム

オールバッハ名曲選!! 真夏のオルガン コンサート2020



アダム・タバイディ

(第21代札幌コンサートホール専属オルガニスト)



一度聴けば必ず惹き込まれて
しまふ、その魅力の秘密は――

ザ・シンフォニーホールの夏の人気企画「オールバッハ名曲選 真夏のオルガンコンサート」(毎年バッハの命日に近い日程で開催され、今回で5回目)。毎回完売を記録するこのコンサート。いつも終演後にはオルガンコンサート初体験の方、リピーターの方の感動と興奮でホールが大いに賑わいます。コンサートを楽しくんだお客様からは、「パイプオルガンって素晴らしい楽器だ」ということが改めてわかった!」「心に清流が流れるような心地良い音色だった!」「オルガンの音は生で聴いてこそ!遠方からでも聴く価値あり」などという絶賛の声をたくさんいただいています。

一度聴けば必ず惹き込まれ

てしまふ、その魅力の秘密は、3732本のパイプから紡ぎだされる多彩で明瞭な音。そしてその生音が、残響2秒というクラシック音楽にとつて最適といわれる、ザ・シンフォニーホールで鳴り響くと、まるで巨大な楽器の中で音を聴いているような、壮大で幻想的な体験ができるのです。オルガニストの感性、音楽解釈によって音色の違いが楽しめるのも、このシリーズの面白いところ。毎年、魅力的な出演オルガニストにも大きな注目が集まっています。今年は、2019年9月に札幌コンサートホールKitaraの第21代専属オルガニストに就任したアダム・タバイディを迎えます。(Kitaraは、毎年ヨーロッパから才能豊かな若手オルガニストを招聘。歴代専属オルガニストは、日本での活動後、世界各地で活躍している)

1993年、ハンガリー生まれのアダム・タバイディはこれまで、ヴェルサイユ宮殿王室礼拝堂やサンジャン・ボスコ教会、シャルトル大聖堂などで多数コンサートを開催し、2017、18年にはパリ・ノートルダム大聖堂初のオルガニスト研修生にも選ばれた経歴を持ちます。

プログラムは、「前奏曲とフーガト長調 BWV 541」、ヴィ

[オルガン] アダム・タバイディ(第21代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

J.S.バッハ:前奏曲とフーガ ト長調 BWV541/トリオ・ソナタ ハ長調 BWV529/さまざまな手法による18のライプツィヒ・コラール集より いざ来たれ、異教徒の救い人よ BWV659/シュペラー・コラール集より 目覚めよ、と呼ぶ声あり BWV645/フーガ ト短調 BWV578/J.S.バッハ、デュプレ:カンタータ「神よ、われら汝に感謝す」 BWV29より シンフォニア ニ長調/ヴィヴァルディ、J.S.バッハ:オルガン協奏曲 ニ短調 BWV596

2020.7/25(土) 7:00PM ※休憩なし。約60分間のコンサートです。

全席指定 2,200円 (税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

ヴァルディ(バッハ編曲)「オルガン協奏曲 ニ短調 BWV596」ほか、コラールも演奏されるなど、充実のラインナップ! タバイディは「ザ・シンフォニーホールで偉大なるバッハの作品を演奏することができて幸せ」「色彩豊かなプログラムを楽しんでほしい」と意欲を見せています。優しく包み込んでくれるような美しい旋律は必聴! 夏の良き思い出となること、間違いなしです。



2019年10月に行われた前回公演での、演奏後のカーテンコールの様子。たくさんのお客様の拍手喝采を浴びた。

この夏、ホール全体を
陽気にさせてくれるコンサート
ザ・シンフォニーホール・ビッグ・バンド(以下TSHBB)の
2020年の第一弾コンサート
が決定!昨年に続き、今回もスペ
シャル・ゲストにヴァイオリンの

名手 古澤 巖を迎えてステージを
繰り広げる。
2019年10月、「スウィ
ングジャズ名曲選」と題して行
われたコンサートでは、老若男
女、幅広い世代のジャズファンが
ホールに集結。耳馴染みのある

名曲を、洗練されたサウンド、TSHBBならではのダイナミクスを
効かせたアレンジで次々と繰り広
げ、古澤巖との最強タッグを見せ
つけた。
シリーズ15回目となる今回は、
太陽が燦々と輝く7月にぴったりの、
ラテン音楽がテーマ。題して
『ラテンでマンボ!』。
1930年代後半にキューバ
で流行したルンバにジャズの要
素を取り入れて生まれたマンボ。
1950年代には作曲家・指揮者・
ピアニストであるペレス・プラ
ドがマンボブームを巻き起こし、
世界中で人気に火がついた。
プログラムは、そんな「マンボの
王様」と呼ばれたペレス・プラ
ドの「アー・ウツッ!」の掛け声
があまりにも有名な「マンボNo.
5」や「セレン・ローサ」、「マンボ・
ジャンボ」などが並ぶ。今回もT
SHBBメンバー自らが手掛ける
最強のジャズアレンジで、どこま
でも陽気にしてくれるスペシャ
ルなステージを、期待せずにはい
られない。
そして今回でシリーズ5回目
となる古澤巖とのコラボレーショ
ン。TSHBBについては「初
めて一緒に音を出したときから
クオリティの高さが印象的だっ
た」「二人ひとりが、とにかくす
こいプレイヤーで、全員がリズム隊

となつて攻めてくるので、どうス
ウィングするかということに常に
意識させられる」と以前より語っ
ていた。クラシックを軸に様々な
ジャンルの音楽を取り組み、独自の
音作りで常にファンを魅了して
いる古澤が、ラテン音楽をテーマ
にどのようなプログラムを用意す
るか、詳細はホームページで随時
明らかにしていくので、楽しみに
していほしい。
共演を重ねたことで、両者、さ
らなる高みを目指して挑む極上
のセッションは、この日、ザ・シン
フォニーホールに足を運んだお客
様全員を解放感と高揚感で満たし
てくれるだろう。日常の喧騒から
離れ、陽気に音楽を楽しみたい方
は是非、注目してほしい。

ペレス・プラード マンボNo.5
闘牛士のマンボ
マンボ・ジャンボ
セレン・ローサ
パロツソ ブラジル



[出演]The Symphony Hall Big Band
[ヴァイオリン]古澤 巖

2020.7/20(月) 7:00PM
S 5,500円 A 4,400円 B 3,300円(税込)
[お問合せ]大阪アートエージェンシー 072-648-3852
[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中



The Symphony Hall Big Band

~Music Director 菊池寿人~ Vol.15

夏だ!! ラテンだ!! マンボだ!!



スペシャル・ゲスト
古澤 巖

岡幸二郎 ベスト・オブ・ミュージカル・コンサート in OSAKA

のべ1万人を魅了してきたプレミアムコンサートが
ザ・シンフォニーホールに初上陸!

[出演]岡幸二郎 スペシャルゲスト(予定)※決定次第、お知らせ致します。

[指揮]竹本泰蔵 [管弦楽]日本センチュリー交響楽団

『ジキルとハイド』より『ア・ニュー・ライフ』『ディス・イズ・ザ・モーメント』『オペラ座の怪人』より『ミュージック・オブ・ザ・ナイト』『チェス』より『アンセム』『ミス・サイゴン』より『ブイ・ドイ』『命をあげよう』『美女と野獣』より『愛せぬならば』『レミゼラブル』より『スターズ』『フリンク・ホーム』ほか ※曲目・曲順は変更になる場合がございます。

2020.9/6(日) 3:30PM

S 10,000円 A 8,000円 B 6,000円 (税込)

限定プレミアムシート 13,000円 (税込) ※ザ・シンフォニー チケットセンターのみ取り扱い

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]日本コロムビア株式会社/ザ・シンフォニーホール

先行予約:3/19(木) 一般発売:3/22(日)



日本ミュージカル界に燦然と君臨する前人未だのスター、岡幸二郎。福岡県出身、劇団四季にシーズンメンバーとして参加以降、『オペラ座の怪人』『クレイジー・フォー・ユー』『キャンディード』など、これまで多くのミュージカルに出演。著名ミュージカル『レ・ミゼラブル』には17年という長きにわたり出演するなど、その華やかな風貌と圧倒的な歌唱力で一躍ミュージカル・スターへと昇りつめ、多くのファンを魅了し続けています。

昨年はデビュー30周年を迎え、益々精力的に活動する岡幸二郎がいま取り組んでいるのが、フル・オーケストラをバックに『レ・ミゼラブル』や『ミス・サイゴン』など著名ミュージカルの名ナンバーを歌いきる『ベスト・オブ・ミュージカル・コンサート』です。これまで、のべ1万人を超えるお客様に大好評をいただいたこの公演、今回、満を持して初の大阪公演が実現しました! 著名ミュージカルナンバーの美しいメロディーとダイナミックなオーケストラサウンド、そして華やかなスペシャル・ゲストを交えての軽快なトークと歌で存分にお楽しみいただける、この『ベスト・オブ・ミュージカル・コンサート』。今回の大阪公演は、指揮は竹本泰蔵、管弦楽は日本センチュリー交響楽団が務めます。

ミュージカル・ファンのみならず、多くの音楽ファンにも満足していただける、まさに『ベスト』といえるコンサートを是非お楽しみください!

関西フィル 第6回親子定期演奏会 夏休み、自由研究はこれで決まり!! 第2弾 ヨーロッパ一周! 音楽の旅♪

お子様の自由研究にぴったり!
今年は音楽でヨーロッパの旅をしよう!

[指揮]藤岡幸夫 [ナビゲーター]林そよか [管弦楽]関西フィルハーモニー管弦楽団

ブラームス:ハンガリー舞曲より第5番/チャイコフスキー:バレエ『くるみ割り人形』より 花のワルツ/シベリウス:交響詩『フィンランディア』/ドヴォルザーク:交響曲第9番『新世界より』第4楽章/ラヴェル:組曲『マ・メール・ロワ』より 美女と野獣の対話/林そよか:弦楽と打楽器のための『Fantasia』より 第2楽章 ほか

2020.8/10(月・祝) 2:00PM

A おとな 4,400円 こども 2,750円 B おとな 3,300円 こども 1,650円 (税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール/公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団

先行予約:3/19(木) 一般発売:3/22(日)

林そよか
作曲家



©ayane shindo

藤岡幸夫
関西フィル首席指揮者



©HIKAWA

昨夏、クラシックファンだけでなく、目をキラキラとさせた好奇心&探求心溢れるファミリーにもたくさんご来場いただいた、関西フィル親子定期演奏会。今年の夏休み、自由研究はこれで決まり!!を掲げて行われたこのコンサートが大好評につき、第二弾が決定しました。2020年の夏も、関西フィルハーモニー管弦楽団とザ・シンフォニーホールが、最強の自由研究のテーマを提案します!

昨年は作曲家と音楽・歴史が学べるコンサートとしてお届けしましたが、今年は、音楽でヨーロッパ旅行と題して、ロマン派といわれる19世紀のヨーロッパで活躍した作曲家たちの名曲ばかりをご紹介します。ヨハン・シュトラウス2世(オーストリア)、ブラームス(ドイツ)、チャイコフスキー(ロシア)、シベリウス(フィンランド)、ドヴォルザーク(チェコ)など、小学校の音楽の授業で習う、有名な作曲家の音楽が次々と演奏されます。

この「音楽の旅」の案内人は、シリーズ開始から、この親子定期演奏会をナビゲートする指揮者 藤岡幸夫。さらに今年は、作曲家として積極的に活動を展開し、この公演ではプログラムの構成を担う林そよかも、ナビゲーターとして参加する。

なお、コンサートで学んだこと、感じたことを書き込んで、そのまま提出できる、「研究シート」を来場者全員にプレゼント!今年の夏休みも自由研究はコレで決まりです!

コロンえりか(ソプラノ) オペラ・ラティーナ

心をほぐす歌声は必聴!
世界の平和と愛を祈り歌う

発売中

[ソプラノ]コロンえりか [ピアノ]山田武彦

グノー:アヴェ・マリア/コロン:被爆のマリアにささげる讃歌/サティ:ジュ・トゥ・ヴー/エルネスト・レクオーナ:マリア・ラ・オ/メネヒルダ:タンゴ「グランヴィーア」より/ドリーブ:カティスの娘たち ほか

2020.6/6(土) 2:00PM

全席指定 3,300円 (税込)

[お問合せ]テレビマンユニオン音楽事業部 03-6418-8617

[主催]テレビマンユニオン/ザ・シンフォニーホール



ベネズエラ生まれのコロンえりかは、10歳で来日して日本の大学院を修了したのちに、英国王立音楽院修士課程に学んだソプラノ歌手。エル・システマジャパンの立ち上げにも尽力するなど、その活動は多彩だ。

独唱にとどまらず、ヨーロッパのオペラやオラトリオの舞台も数多く経験。2013年に出演した東京シティ・フィルハーモニー管弦楽団の「ブルーノ作曲《カルメル会修道女の対話》」で、コンスタンス役という重要なポジションを演じて高く評価され、日本でも注目されるようになった。また、セゴビアに認められたギタリストで、ベネズエラ国立音楽院の学長を務めた父エリックの作曲した「被爆のマリアに捧げる讃歌」の演奏と講演を行ない、平和へのメッセージを伝える活動も続ける。

この6月には、ザ・シンフォニーホールでリサイタルを開催する。シュールベルト《野ばら》などドイツ・リートをはじめ、サティ《ジュ・トゥ・ヴー》、20世紀に活躍したキューバの作曲家レクオーナの《マリア・ラ・オ》など、歌の魅力を引き立てた親しみやすいプログラムだ。コロンの声は、透明感あふれる音質でホールのすみずみまで響きわたる。その彼女と共演するのは、多くのアーティストが信頼を寄せるピアニストの山田武彦。親密なアンサンブルを存分に満喫させてくれるにちがいない。

(文 道下京子)

石田泰尚 ヴァイオリン・リサイタル 2020

待望!ヴァイオリン界のカリスマが
大阪リサイタルでファンを大いに沸かす!

発売中

[ヴァイオリン]石田泰尚 [ピアノ]山中惇史

ドヴォルザーク:ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ op.100 B.183/フランク:ヴァイオリン・ソナタ イ長調/クライスラー:テンポ・ディ・メヌエット、シンコペーション、ウィーンの小さな行進曲/ピアソラ:アディオス・ノニーノ、フラカナーバ、天使のミロンガ、現代のコンサート、ル・グラン・タンゴ

2020.6/13(土) 7:00PM

全席指定 3,300円 (税込)

[お問合せ]テレビマンユニオン音楽事業部 03-6418-8617

[主催]テレビマンユニオン/ザ・シンフォニーホール



極限まで研ぎ澄まされたシャープな弓さばき、数十人の楽員を束ねる圧倒的な存在感。石田泰尚は、2001年より神奈川フィルのソロコンサートマスターとして重責を担いつつ、ソロ、室内楽でも多彩な活動を展開してきた。この4月より京都市交響楽団特別客員コンサートマスターも兼務の予定だが、6月13日に待望のソロ・リサイタルを開催する。

昨年12月には「三浦一馬ギンテート」「東京グランド・ソロイスト」でザ・シンフォニーホールに登場。そのヴァイオリンは独特のカリスマ的スタイルを持ち、多くの熱烈なファンを獲得してきた。今回のリサイタルでは、古典的な名作であるフランクのソナタ、クライスラーのウィーンの香り豊かな洒落な小品「シンコペーション」などが選曲されているが、石田の十八番であるピアソラ作品も本当に楽しみである。「アディオス・ノニーノ」「天使のミロンガ」といったタンゴの名作での情感あふれる石田のヴァイオリンはまさに絶品。大阪のファンを大いに沸かせてくれることだろう。

共演は今もつとも旬のピアニストの山中惇史である。東京芸大で作曲、ピアノ双方を学んだ俊英だ。共演者の美点を引き立てるアンサンブルの巧みさには定評があり、数々の名手と共演している。石田と山中というコンビが、熱い丁々発止の名演を繰り広げてくれるにちがいない。

(文 伊藤制子)

工藤重典と世界で活躍する若き音楽家たち〈モーツァルト フルート四重奏曲全曲演奏会〉

日本を代表する巨匠と世界が認める
若き奏者による最強のアンサンブルを堪能!

[フルート]工藤重典 [ヴァイオリン]辻 彩奈
[ヴィオラ]田原綾子 [チェロ]横坂 源

モーツァルト:フルート四重奏曲 第4番 イ長調 K.298/フルート四重奏曲 第2番 ト長調 K.285a/フルート四重奏曲 第3番 ハ長調 K.285b/フルート四重奏曲 第1番 ニ長調 K.285/ディベルティメント第17番 ニ長調 K.334 より

2020.6/5(金) 7:00PM

全席指定 5,000円 (税込)

[お問合せ]カジモト・イープラス 0570-06-9960

[主催]KAJIMOTO/ザ・シンフォニーホール

発売中



写真左より工藤重典、辻 彩奈、横坂 源、田原綾子

巨匠ジャン・ピエール・ランパルの愛弟子で、長年世界的奏者としてフルート界を牽引している工藤重典による注目の企画。2016年のモントリオール国際音楽コンクールを制した辻彩奈、第11回東京音楽コンクールの覇者・田原綾子、難関ミュンヘン国際音楽コンクールで第2位に輝いたチェロの横坂源という、日本期待の若手を集めた室内楽コンサートが実現する!

昨年夏に所属音楽事務所のパートナーで彼らと共演した際の印象を、工藤は、「長く演奏活動を行っていますが、こんなに清々しく澁刺としてワクワクした経験はしばらくなかったものでした」と熱く語る。また、恩師ランパルが、若き日のレジス・パスキエ(ヴァイオリン)やブルーノ・パスキエ(ヴィオラ)らと室内楽を演奏していた想い出とも重なり、後日偶然にも辻はレジス、田原はブルーノを各々師に持つことを知ったという。

そして今回演奏されるのが、昨年夏およびランパルたちの演目でもあったモーツァルトのフルート四重奏曲。しかもそれを全4曲に加え、フランス風の優雅さと流麗さを湛えたディヴェルティメント第17番も演奏予定だというから嬉しい。フランスの巨匠たちから工藤へ、さらに日本の若者たちへと受け継がれる美しい音の系譜を存分に堪能しよう!!

(文 渡辺謙太郎)

〈名曲シリーズ〉大阪フィル×ザ・シンフォニーホール ソワレ・シンフォニー Vol.15

Vol.15 2020.5/29(金) 7:00PM ※PM6:50より大友直人によるプレトーク

[指揮]大友直人 [チェロ]宮田 大

ドヴォルザーク:チェロ協奏曲 口短調 op.104/ベートーヴェン:交響曲 第6番 ハ長調 op.68「田園」

A 5,100円 B 3,100円 (税込)

発売中

Vol.16 2020.11/5(木) 7:00PM ※6:50PMより角田鋼亮によるプレトーク

[指揮]角田鋼亮 [ヴァイオリン]前橋汀子 [オルガン]富田一樹

サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン/マスネ:タイスの瞑想曲/サン＝サーンス:歌劇「サムソンとデリラ」より「パッカーナル」/序奏とロンド・カプリチオーソ/交響曲 第3番 ハ短調 op.78「オルガン付」

A 5,100円 B 3,100円 (税込) 一般発売:5/27(水)

※大阪フィル・チケットセンター他、プレイガイドは5/26(火)より一般発売

[お問合せ]大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

Vol.15&Vol.16のセット券は大阪フィル・チケットセンターのみで発売中

[主催]公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会/ザ・シンフォニーホール

人気シリーズ7年目の前半は
大友直人と宮田大の協力タッグで



チェロ 宮田大

指揮 大友直人

15回目の公演を迎える大阪フィルの人気シリーズ「ソワレ・シンフォニー」。今回は麗らかな5月末の金曜夜の開催ということで、それにふさわしいエレガントで聴きごたえのある出演者と演目が決定した。

指揮者は前回に続き、日本を代表する名匠で、過去に同フィルの専属指揮者を務めた経験から長年親密な関係を結んでいる大友直人。ソリストは、柔軟でしなやかな演技で大活躍中の俊才チェロ奏者 宮田大という豪華な陣容だ。

前半は、チェロ協奏曲の代名詞とも言えるドヴォルザークの壮大な作品を宮田のソロで。彼は本作を、「技術云々ではなく、自分の心の中が自然に作用して表現される音楽。演奏するたびに、イメージ、カラー、感情が変わります」と語っており、今回も季節と会場にふさわしい名演が期待される。

そして後半に演奏されるのが、ベートーヴェンの交響曲第6番「田園」。大友は過去に、この流麗に振幅する傑作交響曲を、ヴィヴァルディ「四季」と弾き比べて自然感の違いを明らかにしたり、歌手の玉置浩二と共演して彼のヒット曲「田園」と本作を続けて演奏したりと、実に様々な形で演奏してきた。そんな豊富な指揮経験から生まれるに違いない、美しい知性と感性を備えた解釈に期待が高まる!

なお、Vol.16公演も発表されているので、併せてチェックを!

(文 渡辺謙太郎)

山形交響楽団 さくらんぼコンサート2020 大阪公演

今年の山響は名作3本立てで魅力を伝える。
うれしいさくらんぼのお土産付き!

[指揮]阪 哲朗 [ピアノ]ペーター・ヤブロンスキー
[管弦楽]山形交響楽団

ムソルグスキー:交響詩「はげ山の一夜」/ラヴェル:ピアノ協奏曲 ト長調/リムスキー=コル
サコフ:交響組曲「シェエラザード」op.35

2020.6/20(土) 2:00PM

S 5,100円 A 4,100円 B 3,100円 (税込)

[お問合せ]山響チケットサービス 023-616-6607

[主催]公益社団法人 山形交響楽協会/ザ・シンフォニーホール

発売中



指揮:阪 哲朗

ピアノ:ペーター・ヤブロンスキー

山形交響楽団

名湯として名高い銀山温泉や食通
もうなる美味なさくらんぼの佐藤錦
など、郷土色豊かな食と温泉を誇る山
形で、地元から長らく愛されてきた山
形交響楽団。温かみのある実直なア
ンサンブルが特徴の同交響楽団が、昨
年に引き続き、ザ・シンフォニーホール
で「さくらんぼコンサート」を開催す
る。指揮は2019年4月より山形
交響楽団常任指揮者をつとめる阪哲
朗。

プログラムは管弦楽の色彩的な華
やかさを楽しめる名作3曲で構成さ
れている。一曲目は、ムソルグスキ
の交響詩「はげ山の一夜」。弦の激しい
響きや重厚感あふれる金管の活躍な
どがめざましい名曲である。続くラ
ヴェルのピアノ協奏曲には、名手ペ
ーター・ヤブロンスキーが登場する。ス
ウェーデン生まれで若くして頭角を
現し、世界各地の主要オーケストラと
共演してきた。近年ますます円熟味
を増しているヤブロンスキーが、ジャ
ズのエッセンスを組み込んだラヴェル
作品をどう聞かせてくれるか、楽しみ
だ。なお父の影響もあり、ヤブロン
スキーは当初ジャズのドラムに親しん
だが、のちにクラシックに転じたとい
う。締めくくりにはリムスキー=コ
サコフの交響組曲「シェエラザード」が選
ばれた。千夜一夜物語にもとづき、生
き生きとした描写的な創意に満ちた
曲で、山形交響楽団の魅力をたっぷり
味わうことができるだろう。

(文 伊藤制子)

The Symphony Hall×和太鼓松村組 夏祭り 2020 夏夜に轟く星屑の響き

“瞬きも忘れてしまう”圧巻の舞台!
大迫力&一糸乱れぬパフォーマンスで魅せる

[出演]和太鼓松村組

曲目:未定

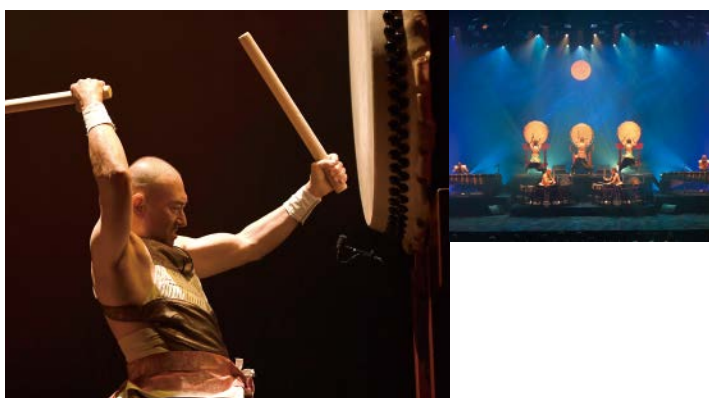
2020.8/29(土) 7:30PM

全席指定 3,000円 (税込)

[お問合せ]エス・ビー・エス 06-4256-8526

[主催]エス・ビー・エス/ザ・シンフォニーホール

先行予約:3/19(木) 一般発売:3/23(月)



「ドドン!」と迫力あるステージ
で毎回観客の心を鷲掴みにする和太鼓
松村組が、8月29日にザ・シンフォニー
ホールにてコンサート「夏祭り」を開催
します。

和太鼓松村組の最大の魅力は、和太
鼓にマリリンバやオカリナ、またケーナ
などのアンデスの民族楽器を融合させ
た、「力強さと優しさを併せ持った、独
自の和太鼓音楽」を展開するところに
あります。

そしてその音楽は、聴く者の心の奥
底に染み渡り、観客からの絶賛の評価
を受けることから、現在はザ・シンフォ
ニーホールにおいても、春「春祭」と夏
「夏祭り」の人気の公演として定着して
います。

今回の舞台は、「夏夜に轟く星屑の響
き」と題し、忘れられない素敵な夏のひ
と時をお楽しみ頂けます。

見どころの一つは、鍛え上げられた
メンバーのハイパフォーマンス。海外
でも大好評を博するなど、一糸乱れず
の緊張感ある舞台は、瞬きも忘れて見
入ってしまうとの声。そして、今回
の公演で登場する大太鼓は、何と樹齢
500年もの大木と、大切に育て上げ
られた牛から造られたものであり、そ
こから発するエネルギーからは、お越
し下さった皆様に生命の音のシャワー
を身体中に浴びて頂けることになるで
しょう。

ザ・シンフォニーホールならではの
ひと夏の経験、そして心の洗濯をし
てみませんか?



音楽を愛する団体が集い、夢を発信する 「ザ・シンフォニーホール」。



総勢150名の中高生による迫力溢れるサウンドが楽しみな「東海大学付属大阪仰星高等学校吹奏楽部」。
創立50周年、想いを込めた渾身のプログラムを聴かせてくれる「大阪府医師会フィルハーモニー」。
2楽団からのメッセージをお届けします。

♪2020年3月からの開催予定公演♪

大阪市民管弦楽団
創立50周年記念 第91回定期演奏会



2020.3/20(金・祝)

近畿大学附属高等学校吹奏楽部
第47回 定期演奏会



2020.3/30(月)

東海大学付属大阪仰星高等学校吹奏楽部
第31回定期演奏会



2020.5/6(水・休)

大阪府医師会フィルハーモニー
第50回記念定期演奏会



2020.7/26(日)

パナソニック合唱団
第45回定期演奏会



2020.9/5(土)

関西シティフィルハーモニー交響楽団
第69回定期演奏会



2020.9/13(日)

大阪市民管弦楽団
創立50周年記念 第92回定期演奏会



2020.9/20(日)

MESSAGE

東海大学付属大阪仰星高等学校吹奏楽部

発売中

東海大学付属大阪仰星高等学校吹奏楽部は、1983年の学校創立と同時に創部し、文武両道の校風の下、勉強と部活動の両立をモットーに活動をしていきます。年間を通じて皆さんの演奏活動を行なっていますが、部員全員の力を結集する「定期演奏会」はその中で最も力を入れている演奏会です。「ホールが楽団を育てる」という言葉の意味を、私たちはザ・シンフォニーホールで定期演奏会をするようになって実感しています。今回で31回目を数える年1回の定期演奏会。ザ・シンフォニーホールの関西随一の音響と、舞台からはっきりと見えるお客様の笑顔。この夢のような一日の経験、私たちが心と頭と体で記憶し、このホールいっぱい仰星サウンドを響かせること、舞台から見えるお客様の笑顔を目標に毎日活動しています。

今回の演奏会、第1部はクラシック・ステージで吹奏楽の魅力をとっぴりとお伝えします。そして第2部ポップス・ステージではお客様にいっしょに楽しんでいただけるよう、プログラム構成演出に工夫をして皆さまをお待ちしております。ぜひご来場いただき、150名の中学生・高校生が繰り広げるステージをお楽しみください。

東海大学付属大阪仰星高等学校吹奏楽部
第31回定期演奏会
[指揮] 藤本佳宏
[吹奏楽] 東海大学付属大阪仰星高等学校吹奏楽部
[トランペット・ソロ] アンドレ・アンリ
クロード・トーマス・スミス：
フェスティバル・ヴァリエーションズ
アレクサンドル・アルチュニアン：トランペット協奏曲
フィリップ・スパーク：ドラゴンの年 ほか
2020.5/6(水・休) 1:00PM/6:00PM
全席指定 1,500円
[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[お問合せ] 東海大学付属大阪仰星高等学校 072-849-7211

MESSAGE

大阪府医師会フィルハーモニー



大阪府医師会フィルハーモニー
第50回記念定期演奏会
[指揮] 藏野雅彦 [ソプラノ] 森田裕子 [アルト] 永松圭子
[テノール] 松本重平 [バリトン] 小玉 晃
[合唱] 関西フィルハーモニー合唱団
[管弦楽] 大阪府医師会フィルハーモニー

ワーグナー：「ニュルンベルクのマイスタージンガー」
第1幕への前奏曲
ベートーヴェン：交響曲 第9番 二短調 op.125「合唱付き」

2020.7/26(日) 2:00PM 全席自由 2,000円

[ご予約] チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード: 170-316]
[お問合せ] 岩佐クリニック 06-6213-2841

「大阪府医師会フィルハーモニー」は、1970年に大阪府医師会員のクラシック音楽を愛するメンバーにより設立され今年で50周年を迎えました。現在では、医療関係者、医学生をはじめそれ以外のメンバーも参加しているオーケストラです。

定期演奏会には、視覚障害を持った方々や普段クラシック音楽と触れ合いの少ない小学生をご招待し、また、大阪市鶴見区にあります「TSURUMI」にもホスピスへの募金活動をホスピスの設立時から行なっております。

今回のコンサートは、オーケストラとの相性の良いドイツ音楽を50年の区切りとして選び、指揮者の藏野雅彦先生と共に2年間かけて取り組んでまいりました。ご期待ください。

※公演により、ザ・シンフォニー チケットセンターでのチケットの取り扱いのないものがございます。